

## 組合員アンケートのお願い



### 組合員の皆さまの ご意見をお伺いする 取り組み



JA福岡大城では、現在取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いして、より一層、皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業振興や暮らしやすい地域づくりに取り組むJAとなれるよう、全ての組合員の皆さまを対象としたアンケート調査を実施することとしております。

なお、政府は、平成33年3月まで、自己改革の実施状況等を調査することとしており、改革の進展状況によっては、JA事業の分割や准組合員のJA事業利用の規制などが検討されることが想定されます。

組合員のみなさまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。

つきましては、平成30年11月以降に実施いたしますアンケート調査への、組合員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

#### 今後の予定

平成30年	11月～	組合員の皆さまへの全戸訪問
平成31年	2月	農業まつり
	3月	営農座談会
	5月	総代会事前説明会
	6月	総代会



JA福岡大城

本店 TEL: 0944-32-1300 城島支店 TEL: 0942-62-2175  
大川支店 TEL: 0944-87-7388 大木支店 TEL: 0944-32-1800



これまでも、これからも、地域とともに

## 自己改革取り組み状況報告

JA福岡大城は、自己改革の基本方針である「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「暮らしやすい地域社会づくり」に取り組みます。

このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いをかさねます。

そして「総合事業」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

JAは、農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や購買事業・信用事業・共済事業などの様々な事業を、相談活動を通じて総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域活性化に取り組んでいます。

今回、自己改革の取り組み状況をまとめましたのでご報告いたします。



福岡大城農業協同組合

# JA福岡大城の自己改革取り組み状況

JA福岡大城は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱とする自己改革に取り組みました。

## 1 農業者の所得増大・農業生産の拡大

農業者の所得増大、農業生産の拡大について、担い手経営体のニーズに応える個別対応や、マーケットインに基づく生産・販売事業方式への転換、生産資材価格の引き下げに取り組みました。



### ●販売事業の取り組み

米・麦・大豆については、栽培講習会や土壌診断を行い品質・収量の改善に努めました。園芸・特産品目については、生産者・生産量の増大を図りながら、主幹品目を中心に販売の有利化に努めました。

平成29年度の販売品販売高は83億円となり、平成27年度と比較して約9億円増加（11.4%）しました。

販売品販売高の推移 (単位:百万円)	
27年度	7,487
28年度	7,917
29年度	8,345

### ●新規就農者への取り組み

新規就農希望者への就農相談から始まり部会への加入と技術研修の受け入れ農家の斡旋を行いました。県単事業によるハウス等の施設導入と融資についての相談から実行までの支援を行いました。



### ●担い手への取り組み

集落営農組織・担い手認定農業者への経営所得安定対策申請事務支援を実施するとともに、関係機関と連携しながら、法人化への推進と運営に関する支援を行いました。



### ●カントリーエレベーターの取り組み

5カ年改修計画を基に「出荷者が利用しやすいカントリーエレベーター」を目指し機能向上を図っています。また、「カントリーエレベーターは食品工場」を合言葉に実需者より求められる施設を目指し、「生産者の所得向上」に努めています。



### ●6次化商品の取り組み

農産物の付加価値向上と6次化商品の強化に向け、しめじ・えのきを使用したフリーズドライの開発に取り組みました。(12月～販売予定)



### ●生産資材価格削減に向けた取り組み

肥料について、化成肥料（ちくごのめぐみ444）の早期での予約引取による、コスト低減を行いました。農業について、久留米地区9 JAでの水稲一発除草剤の品目集約に取り組みコスト低減を行いました。



## 2 地域活性化への貢献、組合員・地域住民との交流

組合員との絆づくり、地域住民とのつながりを大切にし、「ありがとうあふれるJA」の実現を目指した地域密着活動に取り組みました。

### ●食農教育活動（学校給食・学童農園・地域フォーラム）

農畜産物の地産地消をはじめとする安全で安心できる食糧の安定供給、豊かな自然環境の維持、次世代である子供たちに対して学校給食への地元食材の提供、学童農園や地域フォーラムの開催を通じて生命・健康・食糧に対する重要性の理解を深める活動に取り組みました。



### ●農業まつり

管内で生産、販売されている特産品・農産物の認知度の向上と消費の拡大による地域農業の発展を目的に農業まつりを開催しました。



### ●直売所

じゃがいも・黒枝豆収穫祭等、定期的なイベントの充実を図りながら、雑誌やテレビ等のPR活動を積極的に行いました。



### ●イベントの開催

地域の皆様との交流活動の一環として、地域のまつりへの参加や、感謝イベント、グラウンドゴルフ大会等を開催し、ファンづくりとJAの認知度向上に取り組みました。



### ●ふれあい広場

女性部と連携して、「健康づくり、仲間づくり、生きがいづくり」を目的に、高齢者の方を対象としたレクリエーション活動を行うふれあい広場（ミニデイサービス）を開催しました。



### ●総合相談会

年金に関する疑問や不安解消、多様な資金ニーズに対応するため年金とローンの無料相談会を開催しました。



### ●広報活動

広報誌「望」（偶数月発行）や各支店発行の「支店だより」などを通じ、様々な取り組みや情報を提供するとともに、「食」「農」「協同組合」に対する理解促進に努めました。

